

データ解析者 争奪戦

I o T ・ A I で脚光 求人、1年で6倍

2018/1/19付 | 日本経済新聞 夕刊

企業のビッグデータを解析し、商品やサービスの改善に役立てる「データサイエンティスト」が人気だ。求人情報大手が扱う求人は1年近くで6倍弱に増えた。あらゆるモノがネットにつながる「I o T」や人工知能（A I）の活用に欠かせない人材として、I T（情報技術）企業やメーカーが確保を急いでいる。

フリーマーケットアプリ大手のメルカリ（東京・港）は現在15人のデータサイエンティストを抱える。主要アプリの「メルカリ」は日米英でダウンロード数が1億件に達した。操作履歴などのデータを解析し、表示や使い勝手を改善する。創業時から通年採用しており「今後も数十人採用する」（石黒卓弥H Rグループマネージャー）。

ヤフーはデータサイエンティストや関連分野で約500人の技術者を抱える。横断組織をつくってデータや技術の活用を進めている。「将来的に2千人規模の人材をそろえたい」。多くの利用者が使うサービスを持ち、豊富なデータを扱える点を採用に生かす。

データサイエンティストは膨大なデータから需要動向や製品の性能を読み取り、課題や解決策を示す。国家資格はないが、統計学や数学の知識に加えて、高いデータ処理能力が求められる。A Iに力を入れる企業が増え、ニーズが急速に高まっている。

日常の不満を情報として集めるアプリ「不満買取センター」を運営するインサイトテック（東京・新宿）は2018年中にデータ解析人員を3人増やす。集めた文章を分析し、A Iに学ばせる内容を決める。ユーザー数は18年中に50万人に達する見込みで、伊藤友博社長は「日本語解析技術の強化で処理能力を高める」と話す。

製造業も注目する。日立造船は17年度に中途や新卒で数人採用した。18年度も確保を続ける。ごみ焼却発電施設の遠隔監視システムでビッグデータの分析が必要になる。今後も船舶用エンジンなどへの展開のためにデータサイエンティストを増やす方針だ。自動運転技術の開発を急ぐ自動車メーカーも「画像データを大量に処理し、技術水準を高める担い手として募集を増やしている」（リクルートキャリア）。



データ分析に関心を持つ若者は多い
（パーソルキャリアが2017年12月に開いたイベント）

求人情報大手エン・ジャパンの転職サービス「ミドルの転職」を通じたデータサイエンティストの求人は17年12月に約150件と同年3月の5.6倍に伸びた。リクルートキャリアも月に100件以上の求人を扱う。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.